

「みなとオアシス門司港」 門司港レトロの成り立ち

かつて、明治から昭和初期にかけ栄華を誇った街、門司。近代日本を支えた港町として歴史に名を刻んでいます。明治二十二年に石炭などを扱う国の特別輸出港に指定され、貿易港としての地位を確立した門司は、中国大陸が近いこともあり、日清戦争、日露戦争における軍需品や兵士たちを送り出す重要な港となり、目覚ましく発展していきました。大正三年には門司駅新駅舎（現在の門司港駅）が完成し、その後、欧州航路の寄港地にもなり、大陸貿易も盛んで満州などへの貿易船や客船で大変賑わいました。

この頃には、日本三大港（神戸、横浜、門司）の一つとして数えられ、重要な国際貿易の拠点となっていました。また、大陸貿易の発展とともにもう一つ賑わったものがありました。料亭と花街です。門司には数多くの料亭があり、清滝には10件以上もの料亭が林立していました。旅館も多数あり、中には高松宮殿下が定宿としていた宿もあったそうです。また、芸伎衆もおよそ200人、置屋も20軒以上あったと言われており、当時の華やかな風情が想像できます。

その後、門司港は行政と民間の協力のもと歴史的建造物の保存・活用による賑わい創出が行われ、1995年に『門司港レトロ』として生まれ変わり、今では年間200万人以上の人を訪れる観光地として、新たな歴史を歩んでいます。



当時の門司駅



現在の門司港駅(復元)

「みなとオアシス門司港」 北九州港の歴史

1889年 門司港が国の特別輸出港に指定

1891年 九州鉄道本社の設置

門司起点とする九州鉄道が開通し、名実ともに陸海における九州の門戸に。

欧州からの貨客船や中国との定期航路など、門司港は大変な賑わいを見せていました。

1904年 若松港が国の特別輸出入港に指定

明治41年(1908年)には、「世界屈指の帆船港」と評されるほど。昭和初期には、門司と若松両港で全九州の貿易総額の80%近くを占めていました。

1931年 小倉港が一般開港の指定

戦前は国内貿易を主体とした商業港として運営されましたが、戦後の整備が進むと共に外国貿易が始まり、主にセメントの輸出に利用されました。

1964年 北九州港の誕生

北九州市の発足を機に、門司港、小倉港、洞海港が統合し「北九州港」となりました。

～現在

現在も施設の更新や拡充が続けられており、モノづくりを支え、まちを元気にする港として、着実な成長を続けています。



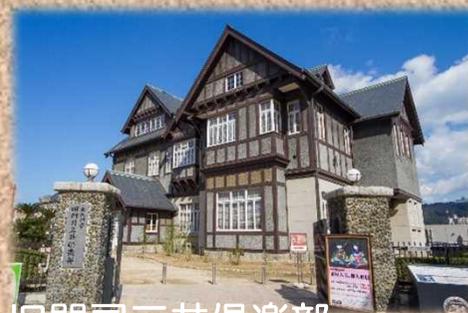
旧門司税関

旧門司税関は、明治45年(1912年)に建築された、門司港レトロの歴史的建物群の中で最古の建物です。昭和初期まで税関庁舎として使われました。

門司港駅は、大正3年(1914年)に建築された駅舎で、1988年に駅舎として日本で初めて国指定重要文化財に指定されました。2019年3月に保存修理工事が完了し、創業当時の姿に復元されました。



門司港駅



旧門司三井倶楽部

旧門司三井倶楽部は、大正10年(1921年)三井物産の社交倶楽部として建築された国指定重要文化財。アインシュタインも宿泊した格式高い社交場でした。

旧大連航路上屋は、昭和4年(1929年)に門司税関1号上屋として建てられ国際ターミナルとして使われました。平成25年にリニューアルオープン。



旧大連航路上屋

「みなとオアシス門司港」一年を通して様々なイベントでおもてなし

門司みなと祭 5月下旬

門司みなと祭は日本三大みなと祭りのひとつとして、数えられているお祭りです。メインは祝賀パレードでミスポート門司を先頭に音楽隊やシャギリ隊、仮装者ら約2,000人が参加し、街中を華やかに行進します。その他、総おどりや門司港バナナの叩き売りなど門司の文化、伝統が披露される盛りだくさんのお祭りです。



関門海峡花火大会 8月13日

毎年8月13日に開催され、関門の夏の風物詩として海峡の夜を華やかに演出します。海峡を挟んで打ち上げる打ち上げ花火大会は世界でも珍しいもの。両岸あわせて約15,000発の花火が打ち上げられます。



門司港イルミネーション 11月頃~3月頃

冬の門司港が幻想的な光に包まれます。歴史的建造物のライトアップ、ツリーイルミネーション、フォトスポットもたっぷり。レトロでロマンチックな夜を演出します



門司港レトロまちあるき 通年

門司港を愛する案内人達による、個人的視点にフューチャーしたまち歩き。観光地として「説明」するのではなく、愛するまちを「紹介」すべく、穴場スポットや隠れエピソードなどを案内人独自目線で紹介したり、とっておきの体験をご用意したり。通常の観光案内ではあまりないような、場所・風景・体験・物語を、案内人独自目線でご案内いたします。



「みなとオアシス門司港」レトロから広がる西海岸地区の賑わい

クルーズ船おもてなし

① 門司港国際ターミナル

北九州港では、国外・国内からのクルーズ客船に今後ますます寄港いただき、ご乗船の皆様へ北九州の魅力発信していくよう、国内外の船社などに対し、積極的なセールス活動を行っています。クルーズ客船寄港の際は、大正ロマンの香り漂う門司港レトロの町並みや関門の風景、夏の一大イベント・海峡花火大会や冬のイルミネーションなどをはじめとした北九州の魅力をお楽しみいただいています。



② 関門海峡ミュージアム

関門海峡の過去・現在を五感で感じられるミュージアム。令和元年9月21日にリニューアル・グランドオープン！



③ 松永文庫（旧大連航路上屋）

故松永武氏が映画研究のために収集した映画芸能関連の資料の展示。定期的な企画展の他、毎月、上映会を開催しています。



北九州港開港130周年記念イベント

北九州港は、明治22年(1889年)に、構成港である門司港が国の特別輸出港に指定されてから、令和元年で、130周年という節目の年を迎えます。

国の内外を問わず人や物が行き交い、互いに連携し、にぎわいを見せ、時代に求められる役割を果たしながら今日の発展を遂げてきました。

北九州の港と海辺、そこでの様々な活動を通じて、更なる持続的な発展を目指していきたいと考えています。

開港記念日の11月15日(金)に続く週末には、門司港周辺で、開港記念メインイベント(記念式典、音楽、アート、ライトアップなどの市民参加イベント)を開催し、開港記念を盛大にお祝いします。



イベント詳細は、
130周年特設HPで
CHECK!



北九州港マスコットキャラクター

名前:スナQ(スナキュー)

モデル:スナメリ

誕生日:11月15日

性別:男の子